

# 抄遊交

世界自然保  
るからウマがあった。

護基金ジャパ  
今年、久しぶりに野尻  
湖のキャンプに行った。

室長を務める  
我々の次の世代が生活し  
ている姿をみると三十年

佐藤哲君とは  
前にタイムスリップ。私

中学生のころからのつき  
合。今でこそインター  
もキャンプの野外学習に

ネットが私の顔であり、  
参加、いつでもどこでも  
インターネットとつなが

た生活だが、大学四年ま  
るユビキタス社会を忘  
れ、大自然の息吹

では夏には野山を  
駆け回るアウトド  
を感じると「これ

ア生活に熱中し  
た。  
点」が  
おれたちの原

た。  
純  
点」と確認した。

子供のころは夏  
休みに野尻湖で毎  
年開かれるYMC

Aのキャンプ「野  
尻学荘」に参加す  
るのが楽しみ。一

年後輩に佐藤君がいた。  
を制限すべき生物にIC

当時から理想を追求する  
タグを使い生態を観察で  
きないか」と真顔でいう。

求道派の彼は生物進歩の  
きないか」と真顔でいう。  
インターネットも自然も

ナゾを追いかけ、二十年  
近くアフリカに通った。  
グローバルな環境。二人

毎日魚を追いかけ、生物  
の三十年間の専門活動が  
学の世界で認められる存

在になったねばりは私に  
結びつくかもしれない。  
(むらい・じゅん||慶応  
義塾大学教授)

## 原点が山野

純 井 村

自然派の佐藤君  
も最近では自然保護  
に情報技術が使え

ないか、相談して  
くる。「絶滅の恐

れがあり、商取引  
を制限すべき生物にIC

タグを使い生態を観察で  
きないか」と真顔でいう。

インターネットも自然も  
グローバルな環境。二人

毎日魚を追いかけ、生物  
の三十年間の専門活動が  
学の世界で認められる存

在になったねばりは私に  
結びつくかもしれない。  
(むらい・じゅん||慶応  
義塾大学教授)